

みんなで
もりあげて
いこう！

「(仮称)道の駅姫路」基本計画

播磨の^{みりよく}実力にあふれ、

世代・地域を越えた

交流を生み出す

道の駅を創る。



令和4年3月

姫路市

目 次

第 1 章 はじめに

1	「(仮称) 道の駅姫路」基本計画の位置づけ	1
2	道の駅とは	1
3	基本構想における整備の目的とコンセプト	3
4	基本構想における導入機能	5
5	基本計画での検討の視点	6

第 2 章 整備イメージ

1	ヒアリング調査	7
2	主な利用シチュエーションでの行動イメージ	14
3	導入機能と整備のポイント	15
4	未来志向の道の駅としての取り組み	27

第 3 章 施設規模

1	施設規模の検討の流れ	29
2	施設規模の算定	30

第 4 章 事業対象地の選定

1	事業対象地	53
2	事業対象地の概要	54
3	敷地条件の整理	56

第5章 施設配置

1 施設配置計画	57
----------------	----

第6章 整備・管理運営手法

1 整備主体	61
2 管理運営に関する基本方針	61
3 整備・管理運営手法の検討	62
4 事業収支	64

第7章 事業計画

1 概算事業費	69
2 今後のスケジュール	70

第8章 計画実現に向けた進め方

1 資金計画	71
2 実現に向けた課題の整理	72

用語解説	73
------------	----

第1章 はじめに

1 「(仮称) 道の駅姫路」基本計画の位置づけ

本市では、世界遺産・国宝姫路城を中心に国内外から多くの観光客を迎えているが、来訪手段の約7割が自動車であることから、車利用者の休憩機能や観光情報発信機能を有する道の駅の整備が求められる状況にある。

そこで、単なる休憩施設にとどまらず、地元産品の買い物や飲食で楽しむことに加え、利便性・魅力向上機能や交流機能を併せ持った道の駅を整備することを目指し、令和3年3月に「(仮称) 道の駅姫路」整備基本構想（以下「基本構想」という。）を策定した。

本計画では、想定される多様な利用者の目線や事業者の目線を統合し、ターゲット設定や導入機能などの整備方針を示すとともに、事業手法の検討を加え、今後の事業の進め方を整理することを目的とする。

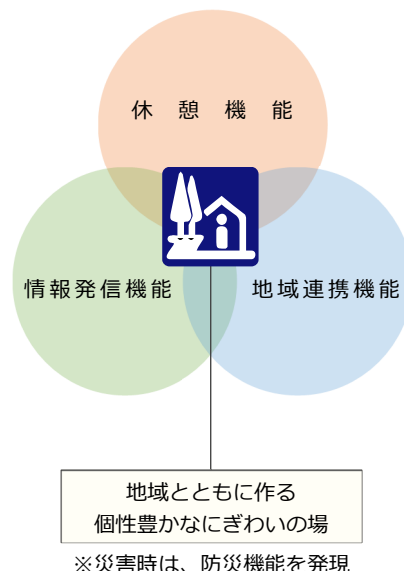
2 道の駅とは

道の駅の制度は、『道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供』『地域の振興や安全の確保に寄与』することなどを目的として、平成5年に創設された。そして、制度発足から『通過する道路利用者へのサービス提供の場』として全国に広がり、令和3年7月現在1,193駅が設置されている。

【(1) 道の駅の施設構成】

道の駅が担うべき基本的な役割として、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」の3つの機能があり、道の駅として国土交通省に登録されるためには、それぞれ、以下のようなサービスが求められる。

登録要件（抜粋）	
休憩機能	利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場、清潔なトイレ（原則、洋式）、子育て応援施設（ベビーコーナー等）
情報発信機能	道路及び地域に関する情報を提供（道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等）
地域連携機能	文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
その他	施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化



【(2) これからの道の駅】

道の駅が全国に広がるなか、近年道の駅に求められる更なるサービスの提供や様々な社会ニーズに対応するため、国土交通省が平成31年に設置した新「道の駅」あり方検討会は、令和元年11月に「道の駅」第3ステージを提言し、未来に向けた新たな道の駅として以下のような取り組みを推進している。

2025年に目指す3つの姿

- 1 「道の駅」を世界ブランドへ**
 - ・ インバウンド観光への対応強化
 - ・ 周遊交通の機能強化 等
- 2 新「防災道の駅」が全国の安心拠点に**
 - ・ 広域防災の機能強化
 - ・ 地域防災の機能強化 等
- 3 あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに**
 - ・ 子育て応援の強化
 - ・ 民間タイアップの強化 等

3 基本構想における整備の目的とコンセプト

令和3年3月に策定した基本構想策定の背景と目的は以下のとおり。

- ・本市の観光客の来訪手段は、約7割が自動車であり、車利用者の休憩機能や観光情報発信機能を有する道の駅の整備が求められる状況にある。
- ・地域住民のコミュニティの場や多くの観光客を集める地域活性化の拠点として、地方創生に寄与する施設が求められている。
- ・本市は広域交通の要衝であることから、安全安心の拠点としての役割が求められている。

また、道の駅整備に対するニーズや意見については、以下のことを明らかにした。

- ・姫路城への来訪者の立ち寄りニーズが高い。
- ・市民と大阪や神戸を含む周辺住民が希望する道の駅の機能は、地元の食が楽しめる・買える、カフェ、マルシェやフリーマーケット、花の広場を散歩できるなどの人気が高い。
- ・未就学児と同居している者は、同居していない者に比べて全体的に利用意向が高く、赤ちゃんやこどもが食べられる地元食材を利用した食事が楽しめる、自由に使える芝生広場やこどもが遊べる遊具があるなどの人気が高い。
- ・新しい道の駅ができた場合の利用頻度については、3か月に1回以上との回答が姫路市民で6割程度、30分圏程度の隣接市町の住民で4割程度となっており、それぞれの約半数は1か月に1回以上となっている。日常的なにぎわいを生み出すためには、市民や周辺住民の利用も視野に入れることが重要である。
- ・空港への高速バス乗り場の利用意向は、「ぜひ利用したい」と「利用してもよい」を合わせると6割となり、一定の需要がある。
- ・市内の関係団体や観光関連団体、事業者等からは、観光情報拠点や、市内の特徴的な農産物や水産物、加工品、工芸品などの販売拠点、播磨圏域との連携などの期待やニーズがある。
- ・市役所内からは、観光案内、出張所機能、次世代自動車に対応した設備、障害者就労施設等が供給する物品等の販売、子育て支援拠点等の機能配置のニーズがある。

これらを踏まえ、基本構想では（仮称）道の駅姫路のコンセプトと基本方針を以下のよう
に設定した。

【コンセプト】



基本方針

播磨の実力(みりよく)ある産品があふれ 触れることのできる 魅力的な場

- ・多種多様な地場産品の紹介・販売を通して、
地域経済拠点の形成につなげます。



こどもが楽しめ 三世代が楽しめる世代を越えた 交流の場

- ・市内こども関係施設との連携等により、子育て
で世代～三世代に新たな魅力を PR します。



観光客や市民が集う 地域を越えた 交流の場

- ・観光客と市民の交流を通じ、本市の魅力向上・
PR、さらには定住・移住促進を図ります。



播磨の実力(みりよく)とは、豊かな自然の恩恵やそこで培われた人々の技や創意を生かした農産物、海産物、加工品、工芸品など、歴史・文化・技が育んだ播磨のすぐれた地場産品が人々を惹きつけることを表します。GI*に指定された「はりま」の清酒をはじめとする、播磨の先人たちの技術を受け継ぐ醤油、みりん、麴などの醸造文化や、豊かな大地が育む農水産物、有名ブランドも使用する姫路でなめされた皮革などの豊かさに恵まれています。

※文章中に*印のあるものは、巻末(P73～)に用語解説のあるものを示す。(以下同様。)

4 基本構想における導入機能

前項で設定したコンセプト及び基本方針を実現するため、(仮称)道の駅姫路の導入機能として、「道の駅の基本3機能」、「利便性・魅力向上機能」、「交流機能」の視点から以下の9つの機能を設定した。

導入機能

道の駅の基本3機能	休憩機能	利用者が自由に立ち寄り、快適に休憩できる場所の提供 【例】無料で24時間利用できる駐車場、トイレ、子育て応援施設(ベビーコーナー)等
	情報発信機能	道路利用者や地域の方々のために、 道路交通情報や地域情報を発信する場所の提供 【例】道路及び地域情報コーナー、観光窓口等
	地域連携機能	豊富な地域資源を活用し、 活力ある地域づくりにつながる場所の提供 【例】地元特産品販売所、レストラン・カフェ、行政サービスコーナー等

+

利便性・魅力向上機能	広域防災拠点機能	大規模災害時の広域的な復旧・復興活動拠点となる場所の提供 【例】広域支援部隊*の活動拠点、ヘリポート、防災倉庫、芝生広場等
	交通結節機能	広域交通の要衝という立地性や観光客・地域住民等の利用ニーズを踏まえ、交通利便性の向上に資する機能の提供 【例】バス停留所(パークアンドバスライド*)、レンタサイクル等
	体験機能	本市の豊富な地域資源を活用し、観光客や地元住民が体験を通じて本市をより一層知ってもらう場所の提供 【例】農業体験、伝統工芸体験、和菓子づくり体験等

+

交流機能	観光ゲートウェイ*機能	自動車で来訪する観光客が本市を最初に訪れる玄関口として、市内及び播磨地域の情報の提供 【例】観光・移住コンシェルジュ*、市内・播磨の観光施設との連携等
	こども遊び場	こどもを連れたファミリーが利用しやすいよう、こどもが遊べる場所の提供 【例】芝生広場、遊具、キッズスペース、一時預かり等
	イベントスペース	にぎわい創出のためのイベントやフリーマーケットに活用できる屋外空間の提供 【例】キッチンカー・マルシェ対応広場・設備等

5 基本計画での検討の視点

未来へ向け持続可能な道の駅となるために、現在の社会情勢を取り巻く大きな潮流に着目し、基本構想で設定した導入機能を支えるための横串の視点として以下の3つを重視した道の駅の整備検討を行う。

【(1) 少子高齢化への対応】

諸外国に比べても群を抜いて日本の少子高齢化は進行しており、姫路市総合計画によると、本市においても生産年齢人口の漸減が続くと推計されている。

このような社会における道の駅は、子育てをしやすい環境づくりや生涯現役社会の実現に向けた高齢者の生きがいづくりにつながる場の提供等、あらゆる世代に魅力的な道の駅が求められる。

【(2) SDGs 達成】

本市は令和3年5月21日、内閣府より「SDGs 未来都市*」に選定された。本市が描くSDGs 未来都市プロジェクトの概要は以下であり、持続可能なまちづくりを目指している。

- 1 郷土愛を育み、脱炭素型のライフスタイルを身につけた SDGs*マインドを持つグローバル*人材の育成
- 2 日常生活や経済活動の中で 2050 年脱炭素社会の実現に向けた「ゼロカーボンシティ」の取組

これからの道の駅には、脱炭素化の視点を取り入れることはもちろん、新エネルギーの導入やこれからの地域を担う人材の育成など、社会の変化に対応し、進化し続ける持続可能な道の駅の運営が求められる。

【(3) ニューノーマル（新しい生活様式）への対応】

2020年に世界中に感染拡大した新型コロナウイルスの影響で、生活スタイルや様々な価値観は一変した。

これからの道の駅には、社会ニーズの変化を適切にとらえ、直接接触を減らす設備の工夫や施設レイアウト、オンラインとリアルを使い分けた購買行動への対応や旅行形態の変化など、アフターコロナのニューノーマル*に対応した新しい道の駅が求められる。

第2章 整備イメージ

1 ヒアリング調査

【(1) 調査の概要】

整備イメージを検討するため、多様な方々から道の駅に対するイメージや行ってみたい道の駅などに関するヒアリング調査を実施した。実施にあたっては、利用シチュエーションとして、

- ① こどもの遊び・体験
- ② 旅行者へのおもてなし
- ③ 地元・周辺住民の日常利用

の3つを想定し、対象者同士のワークショップ形式などのヒアリング調査を実施した。

【(2) 調査の実施状況】



アイデア会議(子育て層)



アイデア会議(道の駅好き)



アイデア会議(周辺住民)

みんなでもりあげていこう！

こどもも大人も 楽しめる 道の駅をつくろう！

アンケートご協力をお願い

こんな喜び場があったら行きたい！

こんな食べ物がほしい！

子育てをされているあなたのリクエストやアイデアを道の駅推進室一同に教えてください！

◆ アンケートの回答は右のQRコードから！

WEB回答受付 7月18日（日）まで

※ お一人につき1回の回答をお願いします。

みなさんのご意見をお待ちしております！

道の駅推進室

QRコード

道の駅の概要は、裏面をご覧ください

アンケート周知チラシ

ヒアリング調査

名称	「(仮称) 道の駅姫路」の夢を語る アイデア会議、道の駅ワーキング			懇話会 委員意見	子育て層に対する アンケート
	子育て層	道の駅好き	周辺住民		
テーマ	こどもといっしょに行きたくなる道の駅を考えよう！	姫路に訪れた場合に必ず行きたくなる道の駅を考えよう！	地域にあるとうれしい道の駅を考えよう！		子育てをされているあなたのリクエストやアイデアを教えてください！
日時	6月22日 9:30～11:10	6月23日 9:30～11:10	①7月11日 14:00～15:40 ②10月17日 10:30～11:45 ③10月17日 17:00～18:15	回答期間： ①7月1日～19日 ②8月24日 ～31日	回答期間： 6月30日 ～7月18日
場所	姫路市役所 10 階第四会議室		①谷外公民館 ②城山中学校 体育館 ③小川公民館	用紙記入 (自由回答)	すこやかセンター で配布、インター ネットで回答
参加者	18名 (こどもが いる市職員)	16名 (道の駅が 好きな市職員、 懇話会公募市 民への応募者)	①19名 ②25名 ③46名 (地元自治会 から推薦・選 出された地元 住民)	「(仮称) 道の駅 姫路」整備検討懇 話会委員	回収数 42 件 (配布 230 枚、 回収率 18.3%) 内訳：157 名配布 (子育て学習セン タープログラム参 加者、子育て講演 会参加者) 73 部持ち帰り (遊戯室に配架)
内容	・テーマ①： 「姫路市内や 周辺で、こども を連れていく場 所、その理由」 ・テーマ②： 「こどもを連 れていきたい くなる道の駅と は」	・テーマ①： 「旅先等でこ れまでに行っ てよかった道 の駅、その理 由」 ・テーマ②： 「姫路を来訪 した人（観光 客）が、ぜひ 立ち寄りたく なる道の駅と は」	・テーマ①： 「どんな道の 駅であれば、 日常的に利用 したい？」 ・テーマ②： 「道の駅がで きることを活 かして、地域 で取り組みそ うなこと」	①-1. コンセ プトやターゲット、 導入機能（施設 等）、整備・管 理運営手法等 に関する意見等 ①-2. 姫路市が 参考とすべき道 の駅や類似施設 （あるいは機能 や取組等）とそ の理由 ②整備のポ イント（意見・ 提案）	1. 「(仮称) 道の 駅姫路」にあ ったらいと思 うもの 2. 公園に行く 頻度 3. 週末など休 みの日に行く 公園とその理 由、さらに 欲しい機能 4. 道の駅を 想定した場合 に「こども 連れでも行き やすい」と感 じる施設・サ ービス（トイ レ、食事、買 い物等）

【(3) 調査の結果】

①アイデア会議（子育て層）

休憩機能

- ・電子レンジや調乳設備がある
- ・トイレが広く、ベビーカーのまま入れる
- ・サイクルラック、空気入れ等の修理工具
- ・キッズトイレ
- ・面白いトイレ(照明、壁の色等工夫)
- ・温泉施設
- ・幅の広い駐車スペース
- ・ベンチやテラス席を多く
- ・こどもと一緒に入れるトイレ
- ・歩車分離が十分図られた広い駐車場
- ・長距離トラックのたまり場にならない
- ・歩道はカラー舗装などわかりやすく

地域連携機能

- ・地元の農産物、総菜、菓子等の販売所
- ・地元の農産物を使った食堂(フードコート)
(姫路版たこ焼きやファストフード)
- ・家族で食事できる場所
- ・特産品やお土産の販売が充実
- ・ベビーカー置き場
- ・お座敷やベンチイスが多め
- ・こども連れと大人だけの客との座席の分離
- ・地元スポーツチームの紹介、物販
- ・BBQ
- ・観光客向けレストラン
- ・話題の店

体験機能

- ・絵本やEテレなどに関連したコーナー、
こどもと参加できるワークショップなど
- ・何か経験や、楽しみながら学べる仕掛け
- ・ゲーム感覚でこどもが学べたり、簡単な姫路の
名産品が作れる
- ・小動物と触れ合える
- ・定期的にこども向けのイベント
(アイスやピザづくり)
- ・流しそうめん
- ・珍しい動物、魚、植物
(定期的に入れ替え。見たり触れ合ったり)
- ・芋掘り体験や工作等
- ・アウトドアクッキング

観光ゲートウェイ*機能

- ・文学館や美術館などの展示と関連した展示、
撮影コーナー
- ・近くの花の卸売市場との連携
(例:花イベント、花販売等)

こどもの遊び場

- ・年齢ごとに遊べる区画が分けられたコーナー
- ・こどもを遊ばせながら買い物に集中できる
- ・雨でも遊べる遊具
- ・大型遊具
- ・トランポリン型遊具
- ・水遊び場(ジャブジャブ池、触れる噴水など)
- ・限定のカプセルトイ
- ・キャンプ場
- ・ペダル無し自転車(足蹴りバイク)が楽しめる坂
- ・ツリーハウス
- ・ポップアップテントをたてられるスペース
- ・日陰
- ・乳幼児向けの児童館併設
- ・シンボリックな大きい木

イベントスペース

- ・普段車では行きにくい地元のお店の期間限定
の出店
- ・アートプロジェクト(作家を招聘して、
地元を巻き込んで道の駅で作品を制作)
- ・ご当地ヒーローショー
- ・ソフトクリームやスナック等の軽食を販売して
いる屋台

②アイデア会議（道の駅好き）

休憩機能

- ・屋根付きの自転車、バイク駐車場
- ・サイクルラック
- ・緑の多い駐車場
- ・宿泊者に提供できるエリア(広い駐車場)
- ・ガソリンスタンド
- ・きれいなトイレ(管理は地元へ依頼)
- ・大規模トイレ(観光バスの休憩)
- ・コインシャワー、着替えブース
- ・コインランドリー(旅行中の衣服、プール帰りの水着等)
- ・簡易宿泊施設
- ・温浴施設、足湯
- ・たくさんのベンチ配置
- ・マッサージ
- ・ドッグラン

情報発信機能

- ・フリーWi-Fi
- ・コンシェルジュ*(地元の人と会話できる)
- ・観光案内(姫路城や書写山の魅力を伝える)
- ・マニアックな情報(姫路城以外)
- ・地元の人のおすすめ情報
- ・サイクリング、ハイキングコースの紹介(周辺を散策)
- ・歴代城主の銅像、姫路城のジオラマ
- ・桂米朝氏の銅像
- ・屋台資料館
- ・祭り文化の発信
- ・播磨名所めぐりの歌(スタンプラリー等)
- ・市内の道路や観光施設の混雑状況

地域連携機能

- ・地元の農水産物の販売(野菜(タケノコ等)、果物(イチジク、モモ等)、米、姫路和牛、魚介類(アナゴ、ハモ等))(型崩れOK)
- ・二条大麦を地域で栽培し、商品開発(麦茶、パン、ビール等)
- ・地元の名産品の販売(地元酒造メーカーの酒類全て、皮革(体験とセットで)、火箸等)
- ・地元のお菓子の試し買い(1つから買える)
- ・特産品を使ったメニューを提供するレストラン、手軽なテイクアウト(地元のお米のかまど炊き、たけのこご飯、ハモのひつまばし・しゃぶしゃぶ等)
- ・日本茶のカフェ
- ・地元の田舎料理
- ・モーニングサービス(姫路のモーニング)
- ・夜遅くまで利用できる(お酒の提供も)
- ・ご当地ソフトクリーム(たけのこ、ゆず、れんこん、そば、いちご、あんこ(御座候)、姫路城の形のカップ、和菓子屋とのコラボ等)
- ・若い女性に人気のスイーツやパン(インスタ映え、週替わり)
- ・姫路の名物販売店の誘致(駅そば、御座候、ハトヤ、ヤマサ等)
- ・コンビニ
- ・姫路と縁のある地域(姉妹都市)の人気物産販売
- ・旅行会社とタイアップした当日限り有効の金券配布

広域防災拠点機能

- ・防災倉庫、避難所
- ・道の駅の動線とは区別する
- ・地下水をくみ上げる井戸

交通結節機能

- ・レンタサイクル、炬ちやり*
- ・高速バス乗り場
- ・ETC2.0*への対応

体験機能

- ・ご当地モノの製作体験(予約なし、短時間で完成)
- ・木工体験、竹細工、工芸(張り子色付け)
- ・貸し農園(管理は地元)
- ・周辺の農地での稲刈り体験、稲を使ったしめ縄づくり体験
- ・収穫体験プログラム(いちご、とうもろこし、芋ほり)
- ・野菜工場を作ってそこで収穫体験
- ・周辺農地を花畑に(レンゲ、菜の花、コスモス)
- ・田んぼラグビー
- ・天川の土手に桜を植える
- ・天川のホタル
- ・駐車場シアター
- ・市内学校の校外学習に使えるメニュー

観光ゲートウェイ機能

- ・写真映りの良いオブジェ(「BE KOBE」のような)
- ・展望テラス、展望台(回転喫茶室)(夜景、姫路城)

こどもの遊び場

- ・芝生広場
- ・噴水広場
- ・遊具
- ・スポーツ広場(ローンスライディング*、ローラースケートなど)
- ・ランニングトラック
- ・ボウリング
- ・キャンプ場、BBQ 施設、グランピング、焚火エリア
- ・動物とのふれあいコーナー(やぎ、羊等)

イベントスペース

- ・貸し教室(主婦向け、単発での開催可能)
- ・レンタルキッチン(料理教室、商品開発)
- ・キッチンカー、露店、マルシェ
- ・寄席の開催(二階町との連携)
- ・バイクイベント誘致(オフ会、走行会、試乗会、ライディングスクール)

③アイデア会議（周辺住民）、道の駅ワーキング

休憩機能

- ・宝塚北 SA のように清潔なトイレ
- ・姫路城が見えるトイレ
- ・日帰り風呂、足湯
- ・宿泊施設
- ・日常的に通う健康施設(ジム、温水プール等)
- ・ため池や水路(天川とも連携しつつ)+レストラン
+花壇できれいな場所
- ・ホタルの復活
- ・緑いっぱいの駐車場(落葉樹)

情報発信機能

- ・姫路の紹介映像シアター
- ・姫路の歴史が学べる施設
- ・プロジェクションマッピングや映像による展示
- ・播磨の紹介
- ・地域FMラジオの開設(災害対応も含めて)
- ・SNS 活用による地域と連携した情報発信

地域連携機能

- ・支所(出張所)、AI 活用の無人型
- ・ふるさと納税専用の自販機
- ・周辺農家と連携した核となるアイテムを決めた産地形成
- ・BBQ 場
- ・姫路の特産品(レンコン、アナゴ、ネギ、豚肉、蒲鉾、鮮魚等)
- ・地元の特産品(トマト、桃、レンコン等)
- ・地元特産物の加工所(みそ、こうじ、もろみ等)
- ・道の駅に四季おりおりの果物を植える
- ・地域のお店と連携したポイントシステム導入
- ・道の駅から出る食品廃棄物を堆肥化して農家へ供給し、農家は野菜を栽培・出荷する資源循環システムをつくる
- ・指導者がいる貸農園の開設
- ・全国5位の花き市場との連携
- ・周辺の田んぼで田んぼラグビーを実施
(道の駅に着替え場所やシャワーの設置)

広域防災拠点機能

- ・温泉、貯水槽、芝生広場、避難場所、キッチンカー、水素ステーション*などのエネルギー設備
- ・入る、出るの2つの動線が必要

交通結節機能

- ・広域サイクリング拠点
(川沿いのサイクリングロードとも連携)
- ・自動運転の実験拠点
- ・空港リムジンバスの停留所
- ・周辺地域と道の駅を結ぶループバス等の運行
- ・天川沿いを自転車道として整備
- ・道の駅へのレンタサイクル導入

体験機能

- ・e スポーツ*、イルミネーション、スクリーンゴルフ、ドローン体験
- ・周辺農地での農業体験、観光農園
(企業による野菜工場なども含む)
- ・みんなで料理し食べる場(共食)
- ・姫路特産の皮革のものづくり体験

観光ゲートウェイ機能

- ・道の駅のシンボルとなる城の見える展望台
- ・全国で一番〇〇の道の駅をめざす
- ・道の駅周辺の魅力資源との連携
(巡るルートやマップづくり、案内ガイド育成)
- ・姫路の東の玄関口としてわくわく感のある建物デザイン

こどもの遊び場

- ・子育て施設
- ・スポーツ施設
(バスケット、サッカー、野球、ラグビー、スケボー)
- ・天川との連携した水遊び、水遊びできる場
(小川、プール等)
- ・芝で坂を使って滑れるローンスライディング*
- ・アスレチック
- ・芝生広場はこどもに限定せずに高齢者も使える多目的型にする

イベントスペース

- ・地元中学校や自治会等でのイベントやミニコンサート会場(ホール、ステージ等)
- ・大きな屋根つきフリースペース
(イベント、フリマ、朝市、休憩、災害時等)
- ・移動動物園

その他

- ・各施設や機能を巡る回遊性
- ・周辺農家と連携した核となるアイテムを決めた産地形成
- ・玄関口としての山陽姫路東IC周辺のイメージをよくする
- ・ワーキングスペースの設置
- ・スマートシティ*時代の道の駅(EV 産業拠点)
- ・運営事業者と地元が連携する体制づくり
- ・兵庫県内の道の駅を結び取組
(各駅の特産品が買えるなど)

④懇話会委員意見

休憩機能

- ・大型駐車場
- ・キャンピングカー用スペース
- ・屋根付き駐車場(ベビーカー、車いす配慮)
- ・駐車場内への照明設備、防犯カメラの設置
- ・こどもを見守れるキッズトイレ
- ・24時間対応シャワールーム
- ・おしゃれなベンチ
- ・個室授乳室

情報発信機能

- ・地域の歴史や成り立ちの展示

地域連携機能

- ・農、水、畜産物などを核にした「しろう、西播磨、神崎郡各産地」の商品構成
- ・季節ごとに旬の食材の販売所
- ・地元の食材を利用したレストラン
- ・作りたてでそこでしか食べられない特別な菓子工房
- ・かまどを併設した BBQ 場
- ・道の駅限定のランドセル販売(皮革)
- ・地域限定 100 円ショップ(マッチ、ラーメン、かりんとう、革の端切れ、軍手、ボルトナット等)
- ・観葉植物や種苗などの提供
- ・DMO*と連携した商品開発
- ・搬入スペース、動線確保

広域防災拠点機能

- ・風力、太陽光、水力等の発電設備の展示、啓発

交通結節機能

- ・姫路城観光専用バスの運行(バス停)
- ・自家用車との交錯を回避したバスターミナル
- ・姫路城へのパークアンドライド
- ・施設利用者とパークアンドライド用駐車場の分離
- ・早朝深夜に安心して使える待合スペース
- ・貨客混載バスによる播磨の産物の発信

体験機能

- ・変わり種の乗り物(自転車、三輪車、ペダル無し自転車(足蹴りバイク)等)
- ・サイクリングロード
- ・ランドセルの一部の手作り体験
- ・クラフトワークショップ(革製品、銘菓、家具等)
- ・飛行船、大型ドローンでの観光遊覧
- ・AI 農業体験
- ・親子調理体験

観光ゲートウェイ機能

- ・DMO*と連携した情報提供
- ・姫路城まで見渡せる展望台
- ・姫路城への期待感を醸成する仕掛け(かがり火、のぼり、宿場町の漆喰等)
- ・シンボルになるオブジェ(タケノコ型のボルダリングつきオブジェ、ゆず型ベンチ、日本酒の樽型オブジェ等)
- ・変わり種自動販売機(明石焼き風たこ焼き等)
- ・姫路の旬の花を飾る
- ・秋祭りの屋台陳列

こどもの遊び場

- ・レジャーシートが使える芝生広場
- ・日陰のある屋外施設
- ・メンテナンス性が少ないこども用遊具の設置(モニュメント、自然を生かした空間)
- ・木製の遊具
- ・姫路の道の駅ならではの遊具
- ・足洗い場
- ・どんぐりの木がある広場
- ・こども図書館(絵本・児童書等)

イベントスペース

- ・近隣の田畑でどろんこ大会(ラグビー、サッカー、泥団子投げ等)
- ・乗り物レース
- ・播州秋祭り(文化、魅力発信)
- ・定期的に入れ替わるキッチンカーの出店
- ・本格出店前のチャレンジ出店

その他

- ・球場のような建物
- ・大型スクリーンの設置(e スポーツ*、デジタル看板、アート等)
- ・電力の地産地消、SDGs*(掲示板で CO2 排出量の見える化)
- ・レンタルルームの設置
- ・川辺とリンクさせたミズベリング*の導入
- ・ビオトープの設置
- ・夜の活用
- ・室内スポーツ
- ・食品ロス対策やフードバンク*機能の設置
- ・アフターコロナの新様式への対応、挑戦

⑤子育て層に対するアンケート

休憩機能

- ・こどもが乗り降りできる広い駐車スペース
- ・ベビーカーも入れる広いトイレ
- ・男性トイレのおむつ替えスペース
- ・トイレ個室にチャイルドチェア
- ・男性も使える赤ちゃん休憩室
- ・座って休憩できるスペースが多い

地域連携機能

- ・地元農家の作物が売られている
- ・生産者、加工品の成分などの詳細情報
- ・ベビーカーでも利用できる広い通路
- ・商品棚の高さがこどもにとって危険ではない
- ・こども用カート
(車の形はこどもがすんなり乗ってくれる)
- ・売っている野菜を使ったレシピ
- ・お惣菜をたくさんそろえている
(アレルギー表示あり)
- ・こども向けのレシピ
- ・新鮮な野菜、収穫体験ができる
- ・広めのテーブル、隣の席と間隔がある
- ・こども向けのメニュー(ミニサイズ)
- ・親子でシェアしやすいメニュー
- ・アレルギー対応メニュー
- ・こども用の食器を貸し出し
- ・こども用の椅子(ベルト付)
- ・こども用の手を洗う場所
(背が低くても使いやすい)
- ・こども連れ用に座敷スペース
- ・持ち込み可能(レンジがある)
- ・ホームページでメニューが見られる

こどもの遊び場

- ・遊び場に柵(安全であること)
- ・雨でも楽しめる室内の遊具
- ・小さなこどもが好きな動物の絵
- ・芝生広場
- ・噴水や池など水遊びができる場所
- ・汚れた手足を洗える場所

その他

- ・段差が少ない道路
- ・めずらしいオブジェ、顔出し看板
- ・こどもが泣いたり少々はしゃいだりしても、大目に見てくれる温かい目

2 主な利用シチュエーションでの行動イメージ

ヒアリング調査の結果を踏まえ、「(仮称) 道の駅姫路」における主な利用シチュエーションでの行動イメージを以下のように設定した。

主な利用シチュエーションでの行動イメージ

こどもの遊び・体験	・こどもが「道の駅に遊びに行きたい」とせがみ、親も安心して連れていける公園的な場所として日常利用する ・季節のイベントに親子で参加する（夏休みの工作等） ・こどもが遊んでいる間に直売所で買物できる ・毎週末何かイベントをしているので、週末の午後からでもちょっと出かけられる ・ショッピングモールと同じように道の駅を利用する ・きれいなトイレ、授乳室があるから安心して子連れで出かけられる
旅行者へのおもてなし	・名物のある道の駅として、目的地にする（限定スイーツ、限定ランチ、ゲートウェイとしてのシンボル等） ・地元播磨の新鮮な農産物・海産物を買求める ・サイクリング・ツーリングの集合場所や立ち寄り場所として利用する ・姫路に来た方が姫路城以外にいくところがないか情報収集する ・高速道路に乗る前、下りた後の休憩目的で立ち寄る ・帰り道で最後にお土産をまとめて買う
地元・周辺住民の 日常利用	・日常的な買物として直売所を利用する（野菜等） ・贈答品を買うために直売所を利用する（フルーツ等） ・友人が姫路に遊びにきた際にランチに連れてくる ・自家栽培の農産物を出荷する ・ものづくりや料理などに関するおじいちゃん、おばあちゃん の知恵袋を披露し、多世代交流イベントの担い手になる ・地元の地域活動や学校の発表会をする

3 導入機能と整備のポイント

上記 1, 2 を踏まえ、道の駅の導入機能・施設を以下のように設定する。

導入機能・施設		整備施設
道の駅の 基本 3 機能	休憩機能	・ 駐車場 ・ トイレ ・ その他休憩機能（調乳、授乳室など）
	情報発信機能	・ 情報提供コーナー ・ 姫路市内及び播磨地域の観光情報発信
	地域連携機能	・ 物販（農畜水産物直売所、地元特産品販売所） ・ 飲食（レストラン、フードコート、BBQ スペース、テイクアウト専門店、ドライブスルーカフェなど） ・ その他地域連携機能（行政窓口出張所、地域包括支援センター）
利便性 ・ 魅力向上機能	広域防災拠点機能	・ 防災倉庫 ・ ZEB*（自家消費型太陽光発電設備、蓄電池、燃料電池、V2H*） ・ 会議室
	交通結節機能	・ バス停留所 ・ 電気自動車充電スタンド
	体験機能	・ 体験スペース（農業、食文化、皮革製作など）
交流機能	観光ゲートウェイ*機能	・ コンシェルジュ*コーナー
	こどもの遊び場	・ 芝生広場 ・ 遊具のある遊び場 ・ 水あそび場 ・ 屋内こども遊び場
	イベントスペース	・ 屋根付きフリースペース
その他		・ 調整池* ・ 飲料水兼用耐震性貯水槽* ・ 水素ステーション*（燃料電池自動車対応）等

※整備施設は、今後の検討で変更になることがある。

また、それぞれの導入機能・施設についての施設イメージを以下のように設定する。このイメージは、ハード整備の方向性及び運営者に期待するソフト事業の方向性を表すものである。

なお、イメージはすべて基本的かつ重要な内容だが、特に行頭が「◆」で始まるものは「(仮称)道の駅姫路」が多くの人に親しまれるためのキラーコンテンツとなるような目玉の取り組みである。

【(1) 道の駅基本3機能】

ア 休憩機能のイメージ

【整備方針】	
誰でも安心して使える休憩拠点	
【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	子連れでも安心なトイレ・授乳室
旅行者へのおもてなし	駐車しやすい駐車場
地元・周辺住民の日常利用	—

(ア) 駐車場のイメージ

- ◆芝生や樹木など緑を活用したデザインを目指す。
- ・ベビーカーや車いす、キャンピングカー等、多様な利用者が安全に乗降できる、幅の広いゆとりある駐車スペースを確保する。
- ・障害者用駐車場は施設の出入り口に近い位置に設置し、雨に濡れずに移動できるよう、屋根付きとする。
- ・歩行者の安全性を確保するために、駐車場内を歩車分離とする。
- ・照明の配置の工夫や、防犯カメラ等の設置により駐車場内の防犯・安全性を確保する。
- ・電気自動車の充電施設を設置する。
- ・カーポート型太陽光発電設備を設置し、エネルギーの地産地消に取り組む。



緑の多い駐車場(道の駅ましこ)

(イ) トイレのイメージ

- ◆照明や壁の色等の工夫により、道の駅を訪れる人をおもてなしする明るいデザインを目指す。
- ・ベビーカーのまま入れるトイレやこどもの見守りができるキッズトイレ、おむつ替えスペースを男女のトイレ内に設置するなど、こども連れの利便性や安全性に配慮する。
- ・ユニバーサルデザイン*に配慮し、24 時間、誰もが快適に利用できる清潔なトイレを整備する。

(ウ) その他休憩機能のイメージ

- ・乳幼児がいるこども連れが安心して利用できる調乳室や、プライバシーに配慮した個室授乳室を整備する。
- ・子育て層の長時間の滞在や乳幼児の急な体調変化にも対応できるよう、赤ちゃん用おむつやミルクの自動販売機等を設置する。
- ・近年の道の駅利用者の需要を考慮し、シャワールームや温浴施設、コインランドリー等の設置を検討する。



ベビーコーナー(道の駅米沢)

イ 情報発信機能のイメージ

【整備方針】

来訪者へのあたたかいおもてなし

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】

こどもの遊び・体験	—
旅行者へのおもてなし	旅をするうえで必要不可欠な情報
地元・周辺住民の日常利用	—

- ・デジタルサイネージ*等を用い、リアルタイムな道路情報等を提供するコーナーを設置する。
- ・姫路市内及び播磨地域の観光情報を提供する。



姫路市観光案内所
(姫路観光なびポート)



観光情報発信（道の駅米沢）

ウ 地域連携機能のイメージ

【整備方針】
播磨の実力で全力おもてなし

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	週末のちょっとしたお出かけになる外食
旅行者へのおもてなし	ここにしかないものが買える・食べられる・見られる
地元・周辺住民の日常利用	日常的に行きたくなる、使いやすい

(ア) 物販のイメージ

- ◆姫路を核とした地元播磨の農畜水産物の販売所を整備する。
- ◆「播磨の実力」を発信する地場産品の販売所を整備する。
- ◆運営事業者には「播磨の実力」を発信できる商品の開発を期待する。
 - ・地元生産者が売り手として参画できる販売の場とする。
 - ・POS システム*の活用などにより、出品者の利便性向上に努める。
 - ・姫路と縁のある地域、近隣の道の駅、DMO*との連携などによる物産販売を検討する。
 - ・地元のお菓子を1つから購入できる試し買いコーナーを設置し、市民・観光客が気軽に親しめるような仕掛けを検討する。
 - ・観葉植物や花を活かした内外装で快適でくつろげる環境を創造し、それらの販売も行えるような仕組みを検討する。



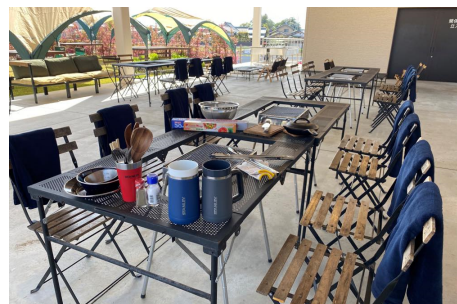
地元特産品販売所
(道の駅神戸フルツワワパーク大沢)

(イ) 飲食のイメージ

- ◆地元の食材を使ったメニューを提供するレストラン、フードコート、BBQ スペースなどの飲食施設を整備する。
- ◆おしゃれで利用したくなるようなデザインを目指す。
- ◆運営事業者には、道の駅限定のスイーツや食べ物の商品開発を期待する。
- ・こども連れに配慮し、専用コーナー、お座敷、ベビーカー置き場、ベビーカーが通れる通路等を確保する。
- ・プレミアムレストラン、手軽なテイクアウトやフードコートなど、ターゲットを考慮した整備を検討する。
- ・新しい生活様式に対応した、ドライブスルーカフェ等の飲食施設の整備を検討する。



フードコート(ニューヨーク)



手ぶら BBQ
(道の駅グランテラス筑西)

(ウ) その他地域連携機能のイメージ

- ・周辺住民が使いやすい行政窓口出張所や地域包括支援センターの整備を検討する。
- ・地域産木材を使用し、あたたかみのある施設を目指す。
- ・出荷者や従業員が使いやすい施設配置とし、利用者との動線交差を防止する。

【(2) 利便性・魅力向上機能のイメージ】

ア 広域防災拠点機能のイメージ

【整備方針】
もしものときには防災拠点に早変わり

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	—
旅行者へのおもてなし	—
地元・周辺住民の日常利用	地域の防災拠点

- ・ 情報発信機能を活用し、緊急時に災害情報等を発信する。
- ・ 市民や道の駅の利用者の非常食等を備蓄しておく防災倉庫を整備する。
- ・ 太陽光発電設備や蓄電池、V2H*を整備し、平常時は環境教育・啓発に活用する。
- ・ 芝生広場等を避難場所として活用する。
- ・ 地元住民の活動場所としての会議室を整備し、災害時には応急活動要員等の連絡・調整の場所として活用する。



駐車場を活用した
非常時の応急活動（進出拠点）



純水素型燃料電池
コージェネレーションシステム
(道の駅なみえ)

イ 交通結節機能のイメージ

【整備方針】
広い駐車場を活かした「まち・そと」への結節点

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	—
旅行者へのおもてなし	サイクリング・ツーリングの拠点
地元・周辺住民の日常利用	空港へのアクセスとして

- ◆空港リムジンバスや一般路線バスが使用できる規模の停留所を整備し、路線の引き込みを交通事業者と協議・検討する。
- ・バスと自家用車の動線は交錯を回避し、安全を確保する。
 - ・パークアンドバスライド*用駐車スペースの設置を検討する。
 - ・サイクリング、ツーリングの拠点として利用しやすいサービスを提供する。
 - ・将来的な自動運転の実験拠点への活用を検討する。



バス停（道の駅むなかた）

レンタサイクル（スポーツバイク）
（大津駅観光案内所）

ウ 体験機能のイメージ

【整備方針】
姫路の手仕事・農仕事・海仕事を学ぶ

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	地域の仕事を体験して地域への愛着につなげる
旅行者へのおもてなし	姫路の工芸品を自分で作って持って帰れる
地元・周辺住民の日常利用	地域の仕事をPRできる

- ◆食文化体験（調理実習）や皮革製作体験等ができる屋内体験スペースを整備する。
- ◆周辺農家や企業と連携した農業体験や、スマート農業*の体験企画を検討する。
- ・漁業体験ができる地引網体験等への送客を検討する。



体験農園（いもほり）



花摘み園（道の駅おおつの里）

【(3) 交流機能のイメージ】

ア 観光ゲートウェイ機能のイメージ

【整備方針】	
姫路観光の新たな魅力を開くゲート	
【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	—
旅行者へのおもてなし	地元の人とのふれあいの中でツウな情報がもらえる 姫路にきたよ！と思える演出
地元・周辺住民の日常利用	地域全体でおもてなしする

- ◆観光情報の案内に加え、姫路への移住相談等を行うコンシェルジュ*コーナーを設置する。
- ◆姫路特産品を建物の内外装に取り入れ、「姫路」らしいデザインを目指す。
- ◆周辺を少し高いところから一望できる展望テラスの設置を検討する。
- ◆かがり火、のぼり、宿場町のデザインなど、姫路城への期待感を醸成するシンボリックなデザインを検討する。
- ・バスデザインや道中の車内アナウンスなどを工夫し、わくわくできるような演出で姫路城へのパークアンドバスライド*を誘導する。
- ・四季折々の花を植え、季節ごとに異なる演出で観光客をおもてなしできるエクステリア*を目指す。
- ・秋祭りの時期など、観光客と地元の双方が楽しめるイベント等の企画を検討する。



コンシェルジュ(道の駅飛鳥)

イ こどもの遊び場のイメージ

【整備方針】
想像力のあるこどもに育つ遊び場

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	近くの公園感覚で日常的に遊べる 週末のちょっとした楽しいお出かけ
旅行者へのおもてなし	—
地元・周辺住民の日常利用	—

- ◆こどもが屋外でのびのびと遊び、休憩できる芝生広場を整備する。
- ◆木登りやトランポリン遊具など、市内にあまりない遊具の設置を検討する。
- ◆こどもが屋外で水あそびができるスペースを確保する。実装は、メンテナンス性を考慮し、検討する。



芝生広場(道の駅ましこ)

- ◆こどもが、室内遊具で遊んだり、本を読んだりすることができる屋内のこどもの遊び場を整備する。
- ・AR*や VR*による姫路城石垣ボルダリングなどデジタル技術を活用した遊びの検討を行う。
- ・屋外スペースは親が周囲で見守りができ、こどもは真夏や雨天でも遊べるよう、屋根の設置などを検討する。
- ・こどもが安全に遊ぶことができるよう、遊び場に安全柵等を設置する。
- ・メンテナンス性を考慮したモニュメント的な遊具や自然を活かした空間を整備する。



ボーンレンド・プレイヴィル
(安満遺跡公園)



水あそび場 (道の駅ぎのざ)

ウ イベントスペースのイメージ

【整備方針】	
いつでもにぎやかなイベントスペース	

【主な利用シチュエーションでの整備のポイント】	
こどもの遊び・体験	毎週末イベントが開催されている
旅行者へのおもてなし	期間限定のここにしかないものが買える・食べられる
地元・周辺住民の日常利用	マルシェやキッチンカーなど本格出店の前にチャレンジすることができる

- ◆イベントやフリーマーケット、朝市、休憩、災害時の活動拠点として利用できる屋根付きイベントスペースを整備する。
- ・本格出店前のチャレンジ出店や移動販売など、定期的に入れ替わるキッチンカーが出店できるような仕組みを検討する。



大屋根広場（安満遺跡公園）

【(4) その他のイメージ】

- ◆アフターコロナのニューノーマル*に対応した、前例にとらわれずに挑戦した道の駅の整備・検討を行う。
- ・道の駅の整備に伴い、調整池*、飲料水兼用耐震性貯水槽*の設置など周辺地域の安全・安心を確保する。
- ・SDGs*に配慮した、エネルギーの地産地消、水素ステーション*の設置（燃料電池自動車対応）、フードバンク*など将来のまちの負担にならない施設運営を検討する。



水素ステーション（姫路市）

4 未来志向の道の駅としての取り組み

(仮称) 道の駅姫路が未来も地域とともに歩いていくために整理した第1章第5項「基本計画での検討の視点」と整備イメージの対応関係は、以下のとおりである。

少子高齢化への対応

- ア 子育てをしやすい環境づくり
- イ 人生100年時代における高齢者の活躍の場づくり

- ① こどもの遊び場機能の導入
- ② こども連れに配慮した駐車場・トイレ・飲食施設
- ③ 地元生産者が出荷者となり、生涯現役に貢献
- ④ 発表・表現の場としてイベントスペースを活用

SDGs 達成

環境	ア	幼少からエネルギーや資源問題を身近に感じ、将来のSDGs*を牽引する人材の育成	① 太陽光発電設備や蓄電池、V2H*などを整備 (環境教育・啓発、防災拠点)
	イ	強靱性(レジリエンス*)の向上に資する環境活動の推進、水素エネルギーの利活用に向けた環境整備	② 地域産木材の活用
	ウ	脱炭素型まちづくりの推進	③ 建物のZEB*化
	エ	3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	④ 水素ステーション*の併設
農・産・商業	ア	農業の6次産業化や農商工連携等に取り組み、農産物の高付加価値化を推進し持続的な農業へ	⑤ 必要なものを必要な分量だけ買える物販
	イ	地域経済の持続的発展を支える新たなビジネスにチャレンジできる環境づくり、地域循環共生圏の拡充	⑥ イベントスペースのフードドライブイベント等の実施
観光	ア	良質な交流を生み出す観光の推進と体制構築	⑦ ボトル to ボトル用のペットボトル回収機器を設置し、プラスチックの資源循環の啓発に活用
	イ	次世代の文化芸術を担う人材の育成	① 高付加価値化に取り組む生産者へ市内の売り場の提供による貢献
人材育成	ア	次世代の文化芸術を担う人材の育成	② GI*はりまなど地域ブランドや「播磨の実力」ある地場産品の販売・PR
	イ	次世代の文化芸術を担う人材の育成	③ イベントスペースでの本格出店前のチャレンジ出店や移動販売の実施
観光	ア	良質な交流を生み出す観光の推進と体制構築	④ 道の駅自体や観光情報発信により姫路城プラスワンの魅力向上による滞在型観光を推進
	イ	次世代の文化芸術を担う人材の育成	⑤ 域外からの交流人口の流入を図り、地域におけるヒト・モノ・カネ・コトの好循環を促進
人材育成	ア	次世代の文化芸術を担う人材の育成	① 道の駅ブランドを活かした観光情報の発信
	イ	次世代の文化芸術を担う人材の育成	② 体験型観光の受付や企画開発
観光	ア	良質な交流を生み出す観光の推進と体制構築	① イベントスペースで学校以外での文化交流・体験
	イ	次世代の文化芸術を担う人材の育成	

ニューノーマル* (新しい生活様式) への対応

- ア 直接接触を避ける工夫
- イ オンラインとリアルを使い分けた購買行動への対応
- ウ マイクロツーリズムへの対応

- ① ゆとりを持った飲食スペース、飲食物のテイクアウトに対応
- ② キャッシュレス決済の導入
- ③ ネット販売の充実
- ④ 屋根付きフリースペースや芝生広場、BBQスペースなど、屋外施設の充実
- ⑤ 魅力的な物販や観光情報など「播磨の実力」を広報し、オンラインからリアルへ誘導、さらにはリアルの訪問者を再訪へとつなげる
- ⑥ 十分な駐車場を確保し、自家用車によるマイクロツーリズムの行き先として機能

